

6月18日（木）校長室より

学校が一斉登校してから、ちょうど一ヶ月が経ちました。

再開直後は、正直なかなか声が出なかった子どもたちも、ようやく元の元気が戻りつつあるように感じます。（もうちょっと元気がほしい・・・と思う部分もありますが。）

とはいえ、授業の様子や休み時間の様子を見ると、友だちと会話をしたり、思いっきり走り回ったり、本来の子どもらしさ全開になってきました。そこで、

仲間と関わり合えば、当然そこには「すれ違い」や「誤解」が起こり、トラブルが生じることがあります。集団で生活する学校において、それは避けて通れないことです。

現在いじめに関するアンケートを実施しています。（保護者用も配付いたしましたのでご提出をお願いします。）

目に見えない“心”を思いやるのは、大人でも難しいときがあります。

幼いうちは、大人が介入しながら解決する方法を学びます。そして、学年が上がるにつれ、自分達で解決する方法を学び、自己解決できる力を身に付けていきます。そうなることを願い、私たちは指導をしています。道徳や学活の時間、朝の会・帰りの会、集会場面、そして授業中、先生方は、子ども達の様子をみながら、目には見えない“心”に刺激を与えます。

アンケートを受けて、担任との教育相談を実施し、“いじめ”は絶対に許されない行為である。ということをお大原則としながら、自分の気持ちを伝えること、そして、相手の気持ちを分かろうとすることの大切さをていねいに伝えていきます。ご家庭でも、お子さんと語り合っていたいただきたいと思います。



教室の引っ越しを手伝ってくれた
6年生へお礼する4年生。

